

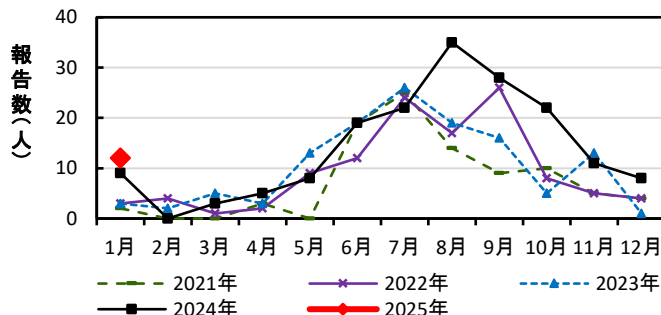
腸管出血性大腸菌感染症 に注意しましょう



◆ 群馬県の流行状況

- 気温の高い初夏から秋にかけて多く報告される疾患です。
例年1月の報告数は2~3件程度ですが、今年の1月の報告数は12件と、例年より多く報告されています。
- 報告の大半が、無症状での届出でした。

腸管出血性大腸菌感染症 経年報告数
(2025年は第5週まで)



◆ どんな病気？

- 食品や手についた腸管出血性大腸菌（O157など）が体に入ることによって起こります。
- 潜伏期間は多くは3~5日で、主症状は下痢・腹痛・血便・発熱などで、重症化することがあります。感染しても無症状の場合もあります。
- 感染した人の糞便中に菌が含まれており、無症状でも周りに感染を広げる恐れがあります。

◆ 予防するには？

- 肉の生食は避けましょう。**
お店で出されたものでも、**赤みが残っている場合はよく焼いて、中心部まで火が通り、色が変わっていることを確認**しましょう。
- 箸やまな板などは、**生肉用と生肉以外用とで使い分ける**ようにしましょう。
- 生野菜はよく洗って食べましょう。
- 生肉は、果物やサラダ等生で食べるものや調理の済んだ食品に触れないようにしましょう。
- 調理器具の洗浄と消毒**をしっかりと行いましょう。
- 石けんと流水による**手洗い**を徹底しましょう。



◇ 下痢や腹痛などの症状がある場合は速やかに医療機関を受診しましょう

- 症状のある人は**家族と一緒に入浴せず、最後に入りましょう。**
- 症状のある人の下着は、**塩素系漂白剤でつけ置き消毒**し、家族のものとは分けて洗濯しましょう。洗濯後は、ゴミ取りネットの掃除を忘れずに行いましょう。
- トイレやおむつ交換**のあとは必ず**手を洗い**ましょう。

★ 腸管出血性大腸菌感染症についての詳しい情報: <https://www.pref.gunma.jp/page/3310.html>



*この情報に関するお問い合わせ先: 群馬県感染制御センター（群馬県衛生環境研究所）

TEL: 027-232-4881

E-mail: kansenseigyo-c@pref.gunma.lg.jp